神奈川県精神神経科診療所協会
2024年5月役員会議事録

日　時　：　2024年5月16日（木）　19時30分より
開催場所　：　ホテルプラム
出席者：　斎藤庸男、三木和平、萩元浩、鏑木宏、三村圭美、赤塚英則、長谷川洋、上村誠、川名明徳、根岸夏己、山澤浩、猪股誠司、開地智子、木代眞樹、小堀真、佐藤嗣有子、山田芳輝　（敬称略、順不同）

Ⅰ．　会長挨拶
　山田和夫先生が退院されました。休診中の代診を行っていただきました先生方、ありがとうございました。

Ⅱ．　前回議事録　承認

Ⅲ．　議案

1．入退会
　入会：PST株式会社（C会員）　承認

2．報告事項

（ア）日精診
　診療報酬改定に関して、早期充実加算算定の要件緩和要請、レセプトへの診療時間、抗うつ薬、抗精神病薬2剤以上の必要理由の記載にも異議、抗議を厚労省障害保健課との会議で申し立てをした。今後、MUSUBI STUDY などで診療所協会としての見解を表明していく。6月9日に総会、午後に新理事会が開催予定。

（イ）講演会
前回役員会から開催なし。

（ウ）神奈川県職員メンタルヘルス相談
　昨年度は25件、15か所の医療機関の協力。
　4月は3件、5月は2件、5医療機関が協力。

（エ）ホームページ、空床情報
セキュリティ―更新料の見積もりは 104 万5000 円と高額であり新たに他社（有限会社テクニカルプロデュース）にホームページ作成の見積もりを依頼、74万8千円、年間サイト運営費は16918円と提示あり。8月頃に移行できるよう交渉継続。

（オ）レセプト請求
社保審査委員、学識担当の張賢徳先生が退任、後任は帝京大学医学部附属溝口病院の齋藤正範先生に。

（カ）診療報酬改定
　2種類以上の抗うつ薬または2種類以上の抗精神病薬を投与した場合は、投与した抗うつ薬又は抗精神病薬の種類数及びその医療上の必要性並びに副作用等について患者に説明し説明した内容を診療録に記載するとともに、説明を行った旨を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。と通知あり。（I002 通院・在宅精神療法（15）を抜粋）

（キ）うつ病対応力向上研修の講師依頼
　県：中郡医師会　10月6日（日）　小林博子先生

県:鎌倉市医師会 10 月 20 日(日) 赤塚英則先生
横浜市 11 月 17 日(日) 加藤大慈先生
川崎市 11 月 9 日(土) 長谷川洋先生
相模原市 11 月 24 日(日) 住吉秋次先生

(ク)県精神医療審査会の委員推薦
平日日中の開催、該当者なしと返答。

(ケ)ギャンブル依存症対策委員の推薦
河村由理先生を推薦

(コ)相模原市の土日祝日の措置診察勤務について
現在 3 名の協力しかないとのこと。神精診でひきうけ、会員で分担することを決議。
相模原市と協議していくことに。

3. 協議事項

(ア)総会・学術講演会(6 月 8 日)
会場:ホテルプラム
共催:ヴィアトリス製薬
「うつ病の薬物治療−最新のエビデンスと実践のポイント−」
馬場元先生(順天堂大学越谷病院)

(イ)診療報酬改定説明会
5 月 29 日 19 時 30 分より横浜市医師会 6 階会議室にて開催。
横浜市精神科医会と合同で開催。共催に相模原市精神科医会、川崎市精神科医会。
現在、定員を超える申し込みあり

(ウ)総会、役員選挙
総会は 6 月 8 日開催。役員選挙は 4 月 29 日告知。5 月 19 日締切。
現在、永年勤続優良職員表彰の推薦が1名のみで再度 FAX で推薦を依頼。

(エ)決算、予算案
萩元浩監事、鏑木宏監事より監査報告され承認。

(オ)事業報告、事業計画案
新たな事業として PST 株式会社の臨床研究への協力を追加。

(カ)60 周年記念事業、60 周年記念誌
2025 年 11 月頃の開催に向けて準備を進めていく。

(キ)次回役員会
6 月 27 日(木)19 時30分からホテルプラムにて

役員会の最後に斎藤庸男会長より今期で会長職を終えたいという意向が伝えられた。

議事録署名人
萩元 浩
鏑木 宏
斎藤 庸男